

令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

概要

札幌市生涯学習センター

「さっぽろ市民カレッジ」では、市民の多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、図書館やコミュニティ施設、民間企業、大学等と積極的に連携し、講座を実施した。また、オンライン講座として、とかち鹿追ジオパーク・ビジターセンターから中継した「魅力再発見！「ジオパーク」」を実施するなど、多様な学びの場の整備に向けた取り組みを進めた。

8月には、「ちえりあフェスティバル」を開催し、札幌市生涯学習センター、札幌市教育センター、札幌市宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢の4団体に加え、生涯学習センター内に仮事務所を置いていた青少年科学館も参加し、コロナ禍以前にも増して大きな反響をいただいた。

市民が日頃の学習の成果を発表する「サークル発表会」では、展示部門、舞踊・音楽部門において、昨年以上に多くの市民に鑑賞いただき、市民への生涯学習の普及啓発と、参加者の活動意欲の向上が図られた。

学習支援者活用・育成事業では、「ちえりあビデオクルー」や「カメラボランティア」といった方々にロビーコンサートの撮影を行ってもらい、学習成果を活用する機会を提供した。

メディアプラザにおいては、講座内容と連動した図書資料の展示や音楽資料(CD)を活用した特集を行うなど、所蔵資料の利用促進に努めた。

札幌市青少年科学館

展示物の大規模リニューアル及び施設の長寿命化等の改修工事のため令和4年8月22日から令和6年3月31日まで休館していた。この間、2月上旬まで、生涯学習センターに仮事務所を置き、科学に関する知識の普及啓発に向けた様々な事業を実施した。

展示関連事業では、同センター内にて「日曜実験室」や「科学館の工作室」を実施したほか、幼稚園等では「出前サイエンスショー」を行った。また、SNS上での実験動画等の配信に加え、子どもたちの夏休みや冬休みに合わせてチ・カ・ホ(札幌駅前通地下広場)やデパートなどの商業施設で体験型の特別展を開催した。

天文関連事業については、市内の小学4年生を対象に「出前授業」や「移動プラネタリウム」を用いた学習投影を行ったほか、市内各地域に移動天文車を派遣する「移動天文台」や、モエレ沼公園での「さっぽろ星まつり」を開催し、天体観望の機会を提供した。

その他、サッポロファクトリーや下水道科学館、厚別区PTA等のイベントに協力するなど、他団体との連携にも、より積極的に取り組んだ。

また、2月下旬以降は、4月1日のリニューアルオープンに向けて、マスコミへの報道対応のほか、市民や関係機関を対象とした内覧会を開催するなど、PR活動を積極的に行った。

生涯学習普及振興事業

(定款第4条各号に掲げる事業)

I 札幌市生涯学習センター管理運営事業

(目 的) 札幌市からの指定を受け、市民に自主的な活動及び交流の場を提供し、生涯にわたる学習活動を総合的に支援するため、生涯学習センターの管理運営を行う。

また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1

学習機会提供・活動支援事業

(1) さっぽろ市民カレッジ

1年を3期(4～8月、9～12月、1～3月)に分け、幅広い年齢層を対象に、市民活動系、産業・ビジネス系、文化・教養系の各種講座を実施した。

市民の様々な学習ニーズに対応するため、生涯学習センター企画講座に加え、ちえりあ学習ボランティアやご近所先生(市民講師)による企画講座を実施するなど、多くの市民が講座の企画・運営に参画できる機会を提供した。

さらに、市立札幌大通高校を会場として、高校生と社会人が一緒に学ぶ「学社融合講座」では、受講者の世代を超えた交流が図られた。

ア 市民活動系

まちづくり活動へのきっかけづくり・地域への関心を高めることを目的に、「さっぽろふるさと学・入門編」、「小樽の歴史的建造物をたどる」などのまち歩きを取り入れた講座などを実施した。

さらに、趣味や特技を生かして社会参加を促すことを目的とした「カメラで始めるボランティア活動」や、社会課題の解決に向け活動する人材の育成を図ることを目的に「社会に役立つ仕事カタログ」、「社会に役立つ仕事アイデア」といった講座を体系的に実施した。

イ 産業・ビジネス系

時代とともに変化する消費者ニーズをつかむマーケティング講座、アフターコロナを踏まえ自社の今後の展開を考える経営戦略に関する講座、コロナ禍を経て注目が集まったオンラインビジネスをテーマとした「あなたにもできる SNS 集客でビジネスチャンス」講座、民間企業と連携し、手帳を活用した時間管理を学ぶ講座、ChatGPT を使った Excel による業務効率化について学ぶ講座などを実施した。

また、zoom を活用したオンライン講座として、「やさしいコミュニケーション入門」、「「経営戦略」入門」を開講し、多様な学びの場の整備に向けて積極的な取り組みを行った。

ウ 文化・教養系

趣味や教養、生きがいづくりや仲間づくりにつながる講座や、現代的な課題をテーマとした講座を実施し、市民の学習意欲の向上を図った。

【主な講座】

「70 歳からの終の住処の選び方」(生涯学習センター企画講座)

「源氏物語」で描いた平安時代」(ちえりあ学習ボランティア企画講座)

「タイの言語と文化を学ぼう！」(学社融合講座)

「介護される人のための介護教室」(北区民センター/ご近所先生企画講座)

「東洋医学でらくらくセルフケア」(山の手図書館/ご近所先生企画講座)

(2) 生涯学習関連講座

市民カレッジにおいては、大学・行政機関・民間企業・市民活動団体や専門機関などと連携し、その特性を生かした次のような講座を実施した。

ア 大学との連携事業

大学と連携して互いの特性を生かした講座を提供した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
札幌市立大学	「小樽の歴史的建造物をたどる」	20 名
	「さっぽろの遊郭史」	20 名
北海学園大学	「親子で作る！6種類の野菜料理講座！」	7 組 14 名
	「やさしく学ぶ俳句講座」	22 名

※ 北海学園大学は大学生による企画・運営講座

イ 行政機関連携講座

市内の図書館と連携し、ご近所先生企画講座を実施し、地域における新たな学びの機会を創出した。

【実績】 8 館 10 講座 受講者 132 名

ウ 民間企業などとの連携事業

それぞれの企業の特性を生かした講座を実施し、より専門的で深い知識を提供した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
雪印メグミルク株式会社	「牛のお話と工場探検！」（春・夏期）	15 名
	同（冬期）	15 名
アサヒビール株式会社	「つくって、学ぼう！SDGs」	15 名
	「お酒との上手な付き合い方」	38 名
東洋水産株式会社	「子どもラーメン道場」	10 名
	「おいしい「めんつゆ」の虎の巻！だしの秘密」	40 名
株式会社明治	「発見！チョコレートのひみつ」	16 名
株式会社日本能率協会マネジメントセンター	「自分らしい時間＜とき＞を描こう！」	14 名
株式会社インターパーク NoMaps	「Excel ユーザーのための ChatGPT 入門講座」	16 名

エ 市民活動団体や専門機関などとの連携講座

専門機関や各種学会・協議会などと連携し、現地学習を交えるなどして専門性が高い中にも親しみが感じられるような講座を実施した。

【実績】

連携先	講座名	受講者数
石山大学	「石山軟石と馬鉄、そして定山溪鉄道と石切山駅」	13名
土木学会北海道支部	「バスで行く！工事現場見学ツアー」	30名
札幌市円山動物園	「命をつむぐゾウ舎の取り組み」	20名

●市民カレッジ講座内訳

	センター 企画講座	ちえボラ 企画講座	ご近所先生 企画講座	学社融合 講座	講座数 計	受講者数
市民活動系	28	0	0	7	35	673
産業・ビジネス系	30	0	0	6	36	562
文化・教養系	20	15	85	12	132	2,599
合計	78	15	85	25	203	3,834

※ 市民カレッジ全体の講座内訳であり、(2)の生涯学習関連講座も含む。

(3) 生涯学習普及事業

ア ちえりあフェスティバル

札幌市生涯学習センター、札幌市教育センター、札幌市宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢の4団体が合同で、生涯学習活動に気軽に触れることができる多数のイベントを実施し、幅広い年代層の市民に対して生涯学習の普及啓発を図った。なお、今年度は青少年科学館も参加した。

【実績】 8/27(日) 来場者 6,361名

イ ゆりかごコンサート

コンサート会場等に出向く機会の少ない子育て中の方々を対象に、子どもの声や動きを気にせず、親子で一緒に楽しめるコンサートを開催した。

【実績】 10/31(火) 出演 アンサンブルグループ奏楽(そら) 来場者 273名

ウ 北海道吹奏楽フェスティバル(共催:北海道吹奏楽プロジェクト実行委員会)

プロ講師やアマチュア演奏家と、中高校生が合奏をしながら音楽を楽しむコンサートを開催した。異世代の交流と教育プログラムの実践をメインに、吹奏楽活動の支援と普及を図った。

【実績】 1/28(日)2公演 出演6団体 来場者 544名

2/4(日) 2公演 出演6団体 来場者 506名

エ カルチャーナイト(主催:カルチャーナイト実行委員会)

「カルチャーナイト」では、公共・文化施設、企業施設の夜間開放や動画配信などを通じて様々な文化プログラムを提供している。当事業には毎年参加をしており、今年度は映画の無料上映会を実施した。実施にあたっては視覚障がいのある方も楽しめるよう、ボランティア団体「ムービー北海道」の協力を得て、副音声ガイドサービスを行った。

【実績】7/21(金)「映画上映会 in ちえりあ」来場者 77 名

オ 市民交流スペース「ちえテラス」運営

生涯学習支援スペース「(愛称)Chie Terrace(ちえテラス)」で、メディアプラザ職員による「おはなし会」や、市民カレッジ修了生を中心に結成された読み聞かせボランティアによる「えほんのよみきかせ」を実施した。また、「四季折々」をテーマにカメラボランティアが撮影した写真を展示した。

【実績】おはなし会(絵本の読み聞かせ)	11回	参加者	356名
ボランティアによる絵本の読み聞かせ	2回	参加者	30名
カメラボランティア作品展示	10/8(日)~3/31(日)		38作品

(4) 学習活動支援事業

ア サークル発表会

ちえりあや市内各施設を拠点に活動している団体の学習成果を披露する場として、発表会を開催した。サークル参加者の活動意欲の向上を図るとともに、広く市民に鑑賞の場を設け、サークル活動や学習活動に対する興味・関心を高めた。

【実績】1回

11/6(月)~11(土)	展示部門	19 団体	
11/7(火)	音楽部門	15 団体	来場者 329 名
11/8(水)~11(土)	舞踊部門	31 団体	来場者 692 名

イ ロビーコンサート

市内や市近郊で音楽活動などに取り組む個人や団体に、音楽活動の発表の場を提供するとともに、市民に気軽に演奏を聴いてもらう機会を提供した。

【実績】7 回 出演 7 団体 来場者 683 名

ウ ロビー展示

カメラボランティアの作品展を実施し、学習成果発表の場を設けた。

【実績】8/29(火)~9/8(金) 計 11 日間

(1) 学習指導者・ボランティアなどの養成

ア 市民講師育成事業(ご近所先生)

ご近所先生企画講座の講師を希望する市民を対象に、受講者とのコミュニケーションや指導方法など講師のスキルアップを目的とした研修会等を実施した。また、講師同士の交流を深め、講座の運営の悩み解決に役立つテーマのワークショップや、講師同士がお互いの悩みや成功例を話し合う交流会を実施した。

【実績】説明会 4回 参加者 106名

研修会 4回 参加者 91名

交流会 1回 参加者 19名

イ 生涯学習ボランティア育成事業

市民カレッジ講座の企画・運営に当たる「ちえりあ学習ボランティア」(登録 50名)の活動として、企画内容や運営方法について話し合う定例会を毎月第3土曜日に実施した。また、活動のスキルアップにつながる研修会を実施した。

【実績】定例会 12回

研修会 4回

ウ 職場体験などの受入れ

小中学生の総合的な学習の受け入れや、社会教育を学ぶ大学生などの受け入れを行った。

【実績】3校 その他2団体 計189名

日程	受け入れ先	参加者数
5/21(日)、28(日)	北海学園大学	11名
7/6(木)	手稲宮丘小学校	112名
9/2(土)	国立教育政策研究所社会教育実践研究センター	3名
10/1(日)~3/31(日)	北海学園大学	11名
10/12(木)	手稲宮丘小学校	20名
11/6(月)	大韓民国楊州洞(ヤンジュドン)住民自治会	30名
12/27(水)	北翔大学	2名

エ 生涯学習関連施設職員研修

区民センターや地区センターなどの職員を対象に、生涯学習の意義について、生涯にわたり学び続けることがいかに生きがいにつながるか、ボランティアの事例をとおして学ぶ研修を実施した。また、話しかけ方や情報の伝え方など高齢者とのコミュニケーションをとる時の注意点についての内容も併せて実施した。

【実績】3/5(火) 13施設 14名

(2) ボランティア等活用事業

ア 学習支援者活用・育成事業

(ア) ちえりあビデオクルー

ビデオ撮影ボランティア「ちえりあビデオクルー」は、毎月の定例会や学習会のほか、ちえりあロビーコンサートの撮影や、市内で活動している音楽団体等、外部からの撮影依頼に対応している。また、市民カレッジにおいては、講座の企画や受講者のサポートを行った。

【実績】月例会 12 回
研修会 2 回
講座企画・運営 2 講座

(イ) カメラボランティア

写真撮影ボランティア「カメラボランティア」は、ちえりあロビーコンサートなどセンター事業の撮影や、福祉施設などからの要望に応じて主に市内近郊で写真の撮影を行っている。また、市民カレッジ「カメラで始めるボランティア活動」では、講座の企画や受講者のサポートを行った。その他、カメラボランティア活動の紹介や作品展示を実施した。

【実績】月例会 12 回
講座企画・運営 1 講座
活動紹介・作品展示 2 回

(ウ) コーラスボランティア

市民カレッジ「楽しく歌ってボランティア」講座修了者で結成されたサークルに、同講座の運営補助を務めてもらい、学習成果活用の機会を提供した。

【実績】講座運営補助 1 講座

3

生涯学習センター管理運営事業

(1) 施設の貸与

ア 貸室事業

市民の学習活動の場として、ちえりあホール及び各種研修室を条例に基づき有料で提供した。

【実績】貸室利用件数 12,578 件 貸室利用率 74.1%

イ ロビー・ギャラリーの活用

ロビーにてさっぽろ市民カレッジの講座情報や、ちえりあ学習ボランティアの活動内容を紹介する展示などを行った。また、一般の団体の作品発表の場などとしてギャラリーを提供した。

【実績】ロビー19 件 ギャラリー7件

ウ 学習のための施設開放

施設を有効活用するために、前日までに利用申込みのなかった貸室を学習の場として無料開放するなど、有効活用に努めるとともに、施設開放の実施状況をホームページに掲載し、利用者の利便性向上を図った。

【実績】 夏季期間(7/19(水)～8/20(日)) 計20日間 491 名
冬季期間(12/18(月)～2/29(木)) 計36日間 808 名

エ 他団体が行う公益目的事業の支援(共催)

札幌市生涯学習センター条例及び当法人の公益目的事業に沿った外部団体の事業に対して、企画協力や、広報支援、会場・物件使用料の減免措置等を行った。

【実績】 1回 北海道科学技術振興作品展

(2) 学習相談・情報提供

ア 学習相談、サークル・講師の紹介

生涯学習に関する相談に幅広く対応するとともに、相談内容によっては「ちえりあ市民講師バンク」登録講師やサークルを紹介するなど、市民の学習活動に役立つ情報を提供した。

【実績】 メディアプラザ学習相談 10,912 件
ちえりあ市民講師バンク登録者 189 名
登録サークル 153 団体

イ 広報誌の発行

生涯学習センターの事業や講座、施設の情報などを提供する広報誌「ら・ちえりあって」を発行し、市内公共施設などに配布したほか、LINEによる広報誌の配信を行った。また、3月下旬からは新たに X(旧 Twitter)を活用した情報の配信も開始した。

【実績】 4 回発行(5 月・8 月・11 月・2 月) 各 7,000 部
LINE 公式アカウント友達登録者 1,005 名

ウ ホームページの活用

講座やイベントなどの情報を発信した。また、新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた貸室の空き状況検索を再開した。

【実績】 ホームページアクセス 837,655 件

エ 「さっぽろ生涯学習情報」の発行

市民向けに学習機会を提供している各種施設の主な開催講座等の情報を掲載する冊子「さっぽろ生涯学習情報」を発行し、市内の公共施設等で配布したほか、ホームページ上に掲載した。

【実績】 2 回発行(8 月、3 月) 各 3,000 部

オ 「子どもの学びガイド」の発行

市内の公共施設で開催される子ども向け事業を紹介する案内チラシ「子どもの学びガイド」を制作し、小学校の夏季休暇前に市内小学校の全児童に配布したほか、ホームページ上に掲載した。

【実績】 4 回発行（6 月、7 月、11月、12月） 各 93,000 部

カ 調査研究事業

今後の生涯学習センター及び社会教育施設における事業運営の参考にするため、過去3年間に市民カレッジに申込んだ方を対象に、生涯学習活動を実践している現役世代の学習動向や生涯学習センターの利用実績などについて調査を行った。

【実績】 回答 345 名

キ 利用者などの声を生かす取組み

（ア）札幌市生涯学習センター運営協議会

生涯学習センターの事業や運営についての意見を今後の施設運営の改善に生かせるよう、利用者の代表や外部有識者などによる協議会を開催した。

【実績】 3 回（6月、11月、3月）

（イ）利用者アンケートの実施

生涯学習センター利用者を対象に、接遇などの満足度に関するアンケートを実施した。

【実績】 回答 2,640 名 利用者満足度 貸室 97.4% 事業 89.8%

（3）図書と視聴覚教材の閲覧・貸し出しおよび資料収集ならびに管理運営

ア メディアプラザ運営事業

市民の様々な学習に役立つ図書資料及び音楽資料（CD）の閲覧・貸し出しなどを行うとともに、レファレンスサービスを通じて学習活動の支援を行った。

また、市内の他の図書館との相互取次サービスに対応した。

【実績】 メディアプラザ来場者数 135,448 名

カウンター対応者数 52,347 名

図書・CD 貸出数 72,904 点

図書・CD 予約数 4,762 件

Ⅱ 札幌市青少年科学館等管理運営事業

(目 的) 札幌市からの指定を受け、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発を通して創造性豊かな青少年の育成を図ることなどを目的として、札幌市青少年科学館及び札幌市天文台の管理運営を行う。

また、指定管理業務以外にも公益目的に沿った事業を行う。

1 科学および科学技術普及振興事業

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(ア) 日曜実験室

小中学生を対象に、顕微鏡を用いたミクロの世界等、科学現象や身近な題材をテーマにした実験教室を実施した。

【実績】

実施期間	講座名	回数	受講者数
4月～6月	「のぞいてみよう Microの世界！」	17回	174名
7月～9月	「引っ張る がんばる 水の世界」	16回	139名
10月～1月	「Electric World～電気をつくろう～」	19回	164名

(イ) サイエンジャー科学教室

主に小中学生を対象に、科学や科学技術を体験的に学ぶ機会を提供した。自主企画のほかに、専門機関や企業などと連携して、より専門的な内容の科学教室を行った。

【実績】

日程	名称	参加者数
6/17(土)	「AM/FMラジオをつくろう！」/日本無線株式会社北海道支社	36名
6/24(土)	「メカトロ教室 走れ！ロボットカー」/日本機械学会	29名
7/1(土)	「スケルトンリーフのしおりをつくろう」(2回)/自主企画	61名
9/9(土)	「迷宮ラボ 謎の液体の正体を探れ」(2回)/自主企画	24名
11/11(土)	「オトナサイエンス手作り惑星せっけん教室」/自主企画	5名
11/18(土)	「自分の手で、携帯電話を分解しよう！」/株式会社 KDDI	25名
1/10(水)	「アツアツ×ヒエヒエ×大実験」(2回)/北海道小学校理科学研究会	25名

(ウ) 科学館の工作室

小中学生を対象に、科学原理の理解を深めるとともに、ものづくりへの興味・関心を高めるために、工作教室を実施した。

【実績】

日程	題材	回数	参加者数
日曜・祝日 4/9(日)～12/24(日)	「ぐるぐるおすし」「ころころワニくん」「ホールインワン！ゴルフ」 ほか	76回	632名

日程	題材	回数	参加者数
春休み 4/1(土)～5(水)	「ぐるぐるおすし」	8回	48 名
GW 4/29(土)、30(日)、5/3(水) ～5(金)、7(日)	「まわる！メリーゴーラウンド」	12回	67 名
夏休み 8/2(水)～4(金)、6(日)、 9(水)～11(金)、13(日)、 17(木)、20(日)	「ぴかぴかはなび」	20回	148 名
冬休み 1/6(土)～8(月)、14(日)	「とことこペンギンかぞく」	8回	89 名

(エ) 大学生による科学教室

大学生の科学教育研究を支援するとともに、子どもたちの科学への興味・関心を高めるため、学生が小中学生を指導する科学教室を実施した。

【実績】

9/2(土)「楽しい！簡単！プログラミング教室」 北海道科学大学

参加者 14 名

9/3(日)「気づかぬうちにつかっている！？LED のしくみ」 千歳科学技術大学

参加者 21 名

(オ) 親子天文教室

小学生とその保護者を対象に、天文分野に関連のある工作と天体観測を組み合わせた天文教室を実施した。

【実績】

7/28(金)～30(日) 3回 参加者 49 組 114 名

1/6(土)～8(月) 3回 参加者 43 組 112 名

(カ) 大人のための天文教室

これから星空を楽しみたいという初心者を対象とした、星の基礎知識や星座早見盤の使い方を学ぶ基礎講座「やさしく学ぶ星空教室」や、星や天文について、少し詳しくなりたい方向けの中級講座である「詳しく学ぶ天文講座」をそれぞれ実施した。

【実績】

10/7(土)、21(土)、11/4(土)「やさしく学ぶ星空教室」 参加者 29 名

1/13(土)、27(土)、2/10(土)「詳しく学ぶ天文講座」 参加者 23 名

(キ) 宇宙セミナー

宇宙・天文についての興味・関心を高めるため、第一線で活躍する専門家を招き最新の天文情報に基づく講座を実施した。

【実績】 3/9(土) 「銀河とともに育つ超巨大ブラックホールの謎」

(講師) 北海道大学大学院理学研究院 教授 岡本 崇

参加者 146 名

(ク) 先端科学技術講座

最先端の科学技術への興味・関心を高めるため、最新の科学研究について紹介する講演会を実施した。

【実績】 8/3(木) 山崎直子宇宙飛行士特別講演会

「新しい宇宙時代」 参加者 330 名

(ケ) 他施設への職員派遣

他施設や団体からの依頼に応じ、職員を派遣した。

a サイエンスショーの実演等

水や風船を使った実演やスライムづくりなどのワークショップを行った。

【実績】 8 施設

	日程	催物名	団体名	参加者数
1	4/29(土)	ウォーターサイエンスショー (プール内イベント)	株式会社札幌シャトレ ーゼ	211 名
2	5/3(水) ～5(金)	大丸 サイエンスウィークス	株式会社大丸松坂屋 百貨店 大丸札幌店	3,503 名
3	8/9(水) ～11(金祝)	まるい三越のなつやすみ	株式会社札幌丸井三 越	965 名
4	9/18(月祝)	出張★科学館 in サッポロフ ァクトリー	札幌不動産開発株式 会社	982 名
5	10/15(日)	下水道科学館 秋の感謝祭	一般社団法人札幌下 水道公社 下水道科学 館	75 名
6	11/25(土)	西区こども環境広場	西区環境まちづくり協 議会	113 名
7	12/15(金)	経済学特別講義	札幌学院大学	60 名
8	1/14(日)	サイエンス厚別	厚別区 PTA 連合会	749 名

b プラネタリウムの投影等

移動プラネタリウムや星空観望会を実施した。

【実績】 9 施設

	日程	催物名	団体名	回数	参加者数
1	8/6(日)	移動プラネタリウム	滝川市こども科学館	6回	175 名
2	8/9(水) ～11(金祝)	デジタル宇宙シアタ ー	株式会社札幌丸井三 越	18 回	113 名

	日程	催物名	団体名	回数	参加者数
3	8/12(土)	星空観望会	札幌プリンスホテル	1回	6名
4	8/19(土) ～20(日)	プラネタリウム出張 投影	一宮地域文化広場 (愛知県一宮市)	2回	320名
5	9/18(月 祝)	出張★科学館 in サ ッポロファクトリー	札幌不動産開発株式 会社	6回	122名
6	9/25(月)	移動プラネタリウム (プレスリリース デ モ)	札幌プリンスホテル	—	—
7	11/18(土)	移動プラネタリウム	厚別東小学校 PTA	8回	93名
8	12/2(土)	移動プラネタリウム &スライド投影	清田緑小学校 PTA	4回	131名
9	1/14(日)	移動プラネタリウム	厚別区 PTA 連合会	5回	121名

イ 出前イベント

(ア) 移動天文台

学校や町内会、青少年育成委員会などからの要請により、移動天文車と職員及び天文指導員を派遣し、望遠鏡を用いた天体観望や星空解説を行う観望会を実施した。

【実績】

天体観望実施 21 件 曇天対応(星の解説)8 件 中止 8 件

(イ) さっぽろ星まつり

モエレ沼公園を会場に、市民の天文への関心を高めるため、宇宙に関するゲームや工作、天体観望会等を実施した。

【実績】

9/9(土)、10(日) 参加者 4,150 名

ウ その他科学普及に関する事業

(ア) 科学クラブ運営

小中学生を対象に会員を募り、会員限定イベントの実施や各種講座の情報提供を行い、科学への興味・関心を高められるような事業を行った。

また、イベント等の参加回数に応じた特典を設けることなどにより、リピーターを増やすとともに、科学館への愛着を育む取り組みを行った。

【実績】登録会員 34 名

日程	内容	参加者数
7/8(土)	令和5年度 Sci キッズ友の会開校式	18 名
8/16(水)	くるくるレインボーをつくろう	13 名
10/28(土)	ハロウィンおばけをつくろう	8 名
11/25(土)	星空スペシャル！	4 名
12/17(日)	体感！空気のチカラ	7 名
2/17(土)	青少年科学館 完成前見学会	64 名

(イ) 職場体験などの受け入れ

小中学生の総合的な学習の受け入れを行った。

【実績】1校 21名 6/8(木) 北陽中学校

(ウ) 実験実習セット貸し出し及び制作

小中学校等での効果的な授業づくり等に役立つ実験・実習セットの貸し出しを行った。

【実績】5団体 11セット

(エ) 教員研修

教員を対象に、小学校理科における観察や実験の基礎、指導の実態及び工夫について学ぶ研修を行った。

【実績】4回 8/1(火)、8(火)、1/16(火)、17(水)

札幌市教育センター専門研修「学習指導4～理科実験～」参加者 44名

エ 共催事業・協力事業

(ア) 「宇宙の日 作文・絵画コンテスト」(主催:JAXA、公益財団法人日本宇宙少年団)

「宇宙の日(9月12日)」を記念して、小中学生から「宇宙に関する作文・絵画コンテスト」の作品の募集を行った。

【実績】応募作品 18点(絵画 13点、作文 5点)

表彰式 1/13(土) 作品展 1/13(土)～20(土)

(イ) 夏休み天体観望会(共催:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)

定山溪自然の村で、ペルセウス座流星群が多く流れる時期に天体観望を実施予定だったが、悪天候であったため、施設屋内での星空解説を実施した。

【実績】8/13(日) 参加者 36名(屋内対応)

(ウ) 他団体との連携による科学教室

小中学生向けの科学教室等を開催した。

【実績】4団体

	日程	名称	団体名	参加者数等
1	4/15(土) ～16(日)	環境広場ほっかいどう 2023	G7札幌気候・エネルギー・ 環境大臣会合実行委員会 事務局	573名
2	5/7(日)	GW イベント 科学クエスト ～見えない世界の謎～	イオンモール札幌発寒	1,515名
3	8/27(日)	科学教室―見えないでんばを感じ てみよう―(科学ショー)	第35回国際電波科学連 合総会実行委員会	61名
4	10/7(土)	ジオ・フェスティバル in Sapporo 2023	ジオ・フェスティバル in Sapporo 実行委員会	389名

※ この他、8月27日(日)の生涯学習センター主催による「ちえりあフェスティバル」においても科学教室を開催し、1,310名の参加があった。

また、再開館に向け、新しくできる企業展示ブースや包括連携協定締結団体との連携事業の在り方を検討し、準備を行った。

(2) ボランティアなどの育成・活用事業

ア 天文指導員の養成

天文普及の一翼を担う人材の養成に向けて、定期研修や天文事業への参加機会を提供した。

【実績】登録者 43 名

イ 展示ボランティア等の養成

科学について学びたい市民に自己啓発と活動の場を提供するとともに、来館者へ展示物の理解を促すため、展示ボランティア等の養成を行った。令和4年度から引き続き、養成プログラムなどの検討、立案をする委員会を開催した。また、再開館後の導入に向け、「展示案内ボランティア養成講座」の受講者を募集したところ、募集開始日のうちに定員の 20 名に達した。

【実績】検討委員会 13 回

フロアサポーター養成講座 2回

(3) 科学に関する情報の収集・提供

ア 科学資料の収集

(ア) 科学技術に関する資料の収集

実演や展示物の解説、展示物の更新・改良の基礎資料とするため、市販の出版物や他施設における発行物などを収集した。

(イ) 天文資料の収集

天文に関する解説資料や出版物に加えて、職員が自ら撮影した天体写真などの資料を収集した。

【実績】4月 「オーロラ」

5月 「月の満ち欠け」

6月 「スターリンク衛星(インターネット用の人工衛星)」

7月 「金星」

9月 「太陽活動の様子」

11月 「ISS」

12月 「ふたご座流星群」

3月 「ポン・ブルックス彗星」

イ 科学情報の提供・学習支援

(ア) 「星空散歩」の発行

季節ごとの天体の様子や天文トピックスを掲載した天文情報リーフレットを発行し、市内公共施設などで配布した。

【実績】4 回発行 計 14, 000部

(イ) エア科学館

S N S (ソーシャルネットワークサービス) の「X (旧 Twitter)」を利用し、事業紹介や簡単な実験動画等を配信した。

【実績】4/4(火)～3/26(火) 投稿数 53 回

(1) 展示関連事業

ア 科学館展示

(ア) 常設展示

「見て・触れて・考える」をテーマに、各コーナーの展示物をより楽しく、理解しやすくなるよう、再開館へ向け、展示ゾーン等整備事業を進めた。

(イ) 展示実演等

① サイエンスショー

【実績】239回 11,729名

日程	タイトル	場所	回数	人数
4/1(土)～8/20(日)	「ゆらゆら揺れる振り子の不思議」ほか	生涯学習センター	72回	1,324名
4/11(火) ～12/22(金)	出前サイエンスショー	110施設 (幼稚園他)	117回	9,294名
9/3(日)～1/14(日)	「はかせとふしぎな色水」ほか	生涯学習センター	50回	1,111名

※ 上記に加え、「移動プラネタリウム&サイエンスショーin ちえりあ」として実施

6/10(土) 4回 96名、9/30(土) 4回 87名、11/25(土) 4回 74名

(ウ) 実験・実習への協力

市内の小中学校を対象に、学習指導要領を踏まえた内容で子どもの興味や関心を高める実演や実験、実習、講演を行った。

① 教育支援センター宮の沢への学習支援

【実績】5回 50名

② 学習サイエンスショー

【実績】西野第二小学校 3年生 4回 110名
 稲積小学校 6年生 2回 56名
 新川小学校 4年生 4回 117名
 美しが丘小学校 4年生 2回 39名

③ 職業講演

【実績】栄南中学校 3年生 2回 37名
 新川西中学校 1年生 1回 154名

イ 特別展等

(ア) 特別展

夏、冬休みの期間に、特定のテーマを深く掘り下げた体験型展示を開催した。

【実績】

① 夏の特別展 「あそんでまなぼう！じしゃくのチカラ」

8/18(金)、19(土) 来場者 4,980 名

※ 札幌駅前通地下広場（チカホ）にて開催

② 冬の特別展 「冬のサイエンスまつり」

1/15(月)、16(火) 来場者 4,700 名

※ 新さっぽろアーキシティサンピアザ 1 階光の広場にて開催

(イ) 環境科学展

企業や団体と連携し、環境問題と対策技術の現状などについて、子どもたちに分かりやすく紹介する科学展を開催した。

【実績】 8/27(日) 631 名

※ ちえりあフェスティバルに合わせて生涯学習センターにて開催

(ウ) 中高生のサイエンス広場

中学校や高校の科学部等に、研究成果の発表をする機会を提供するとともに、生徒が企画・運営する科学体験ブースを設け、来場する子ども達が科学体験をできるイベントを開催した。

【実績】 12/2(土) 1,143 名

※ イオンモール札幌発寒にて開催

(2) 天文関連事業

ア プラネタリウム投影

(ア) 一般投影

生涯学習センターや市内公共施設などで、移動式プラネタリウムや天文シミュレーターを用いた投影を行った。観覧者の年齢層にあわせた内容や話し方を工夫するなど、星座や天文知識をわかりやすく紹介した。

【実績】

日程	投影回数	観覧者数	会場
4/15(土)、16(日)	10 回	214 名	札幌ドーム
5/7(日)	6 回	107 名	イオンモール札幌発寒
6/10(土)	4 回	96 名	生涯学習センター ※ サイエンスショーと合同
8/27(日)	4 回	1,359 名	生涯学習センター (ちえりあホール)
9/30(土)	4 回	87 名	生涯学習センター ※ サイエンスショーと合同
11/17(金)	2 回	41 名	札幌市青少年山の家
11/25(土)	4 回	74 名	生涯学習センター ※ サイエンスショーと合同
1/15(月)、16(火)	12 回	299 名	新さっぽろアーキシティ サンピアザ 1 階光の広場

(イ) 学習投影(天文出前授業を含む)

小中学校を対象に、理科授業の一環として、学習指導要領及び各学校の教育課程を踏まえ、天体の動きなどを学習するプラネタリウム投影やスライド学習等を行った。

【実績】

天文出前授業 93 回 参加者 89校 6,036 名
移動プラネタリウム 192回 参加者 65校 4,763 名

(ウ) オート番組制作

プラネタリウム投影時に上映するオリジナルのオート番組(ドーム全体に投影されるアニメーション動画)を青少年科学館の特色・独自性を生かして制作したほか、市販の番組上映権の購入等を進めた。

【実績】

「科学戦隊サイエンジャー ギンガと夢の宇宙大冒険」(当館オリジナル作品)の制作他 2 作品 上映権購入

イ プラネタリウム特別投影

(ア) 特別投影

通常のプログラムとは趣向を変え、タイムリーな話題や現象を深く掘り下げたり、音楽や映像の要素を強く打ち出すなど、普段とは異なる切り口から企画した特別な投影を行った。休館期間のため、プラネタリウム実機で投影した模様を録画し、180°VR 動画として再編集したものを YouTube 上で公開した。

【実績】 SNOW MIKU×プラネタリウム mini

2/4(日)～11(日) 視聴回数 2,912 回

(イ) 字幕付きプラネタリウム

耳の不自由な方々にもプラネタリウムを楽しんで頂けるように、字幕付きの投影を行った。なお、休館期間のためエアドームと移動式プロジェクターで実施した。

【実績】 3/2(土) 1 回 参加者 25 名

※ 生涯学習センター映像スタジオにて開催

(ウ) キッズプラネタリウム

親子でプラネタリウムを楽しんで頂けるよう、未就学児とその保護者を対象とした投影を行った。なお、休館期間のためエアドームと移動式プロジェクターで実施した。

【実績】 3/2(土) 3 回 参加者 82 名

※ 生涯学習センター映像スタジオにて開催

イ 天体観望事業

(ア) 札幌市天文台公開

天文に関する興味・関心を高めるため、札幌の都心部にある中島公園内の札幌市天文台を公開し、日中は太陽を、夜は季節の星座を中心に観望会を実施した。

【実績】 636 回 参加者 17,251 名

(3) その他施設運営

ア 「科学館ニュース」の発行

青少年科学館の行事を掲載した広報誌を発行し、市内の公共施設、幼稚園、小中学校などに配布し、市民への情報発信に努めた。

【実績】 12回 計 78,100 部

イ 利用者などの声を生かす取組み

(ア) 青少年科学館運営協議会の開催

学校関係者や学識経験者、地域有識者等からなる協議会を開催した。休館中の事業計画などについて意見をいただいた。

【実績】 3回(6月、12月、3月)

(イ) 利用者アンケートの実施

青少年科学館利用者を対象に、接遇などの満足度に関するアンケートを実施した。

【実績】 237 件 利用者満足度 94.7%

ウ リニューアルオープンに向けた取組み

(ア) オンライン発券システム等の導入

混雑時のスムーズな入館を図るために、展示室及びプラネタリウムのチケットを事前に予約購入できるオンライン発券システムを導入した。また、定員を定めている先着順の体験型展示物や事業における受付業務の効率化を図るために、整理券配布システムを導入した。

(イ) 内覧会の実施

4/1(月)のリニューアルオープンに向け、3月中に関係各所向けの内覧会を複数回実施し、1,000 名以上の方にご覧いただいた。

また、3/31(日)に市長をはじめとした来賓及び Sci キッズ会員を招待し、オープニングセレモニーを実施した。

【自主事業】 科学及び科学技術普及振興事業

青少年を主とした幅広い年齢層を対象に最新の情報や技術に触れる機会を提供し、科学及び科学技術に関する知識の普及振興を行った。

(1) 科学に関する教室・講座

ア 科学教室

(ア) 他施設への職員派遣

他施設や団体からの依頼に応じ、職員を派遣した。

a サイエンスショーの実演等

水や風船を使った実演やスライムづくりなどのワークショップを行った。

【実績】 8 施設

	日程	催物名	団体名	参加者数
1	4/29(土)	ウォーターサイエンスショー (プール内イベント)	株式会社札幌シャトレ ーゼ	211 名
2	5/3(水) ～5(金)	大丸 サイエンスウィークス	株式会社大丸松坂屋 百貨店 大丸札幌店	3,503 名
3	8/9(水) ～11(金祝)	まるい三越のなつやすみ	株式会社札幌丸井三 越	965 名
4	9/18(月祝)	出張★科学館 in サッポロフ ァクトリー	札幌不動産開発株式 会社	982 名
5	10/15(日)	下水道科学館 秋の感謝祭	一般社団法人札幌下 水道公社 下水道科学 館	75 名
6	11/25(土)	西区こども環境広場	西区環境まちづくり協 議会	113 名
7	12/15(金)	経済学特別講義	札幌学院大学	60 名
8	1/14(日)	サイエンス厚別	厚別区 PTA 連合会	749 名

b プラネタリウムの投影等

移動プラネタリウムや星空観望会を実施した。

【実績】 9 施設

	日程	催物名	団体名	回数	参加者数
1	8/6(日)	移動プラネタリウム	滝川市こども科学館	6回	175 名
2	8/9(水) ～11(金祝)	デジタル宇宙シアタ ー	株式会社札幌丸井三 越	18 回	113 名
3	8/12(土)	星空観望会	札幌プリンスホテル	1回	6 名
4	8/19(土) ～20(日)	プラネタリウム出張 投影	一宮地域文化広場 (愛知県一宮市)	2回	320 名

	日程	催物名	団体名	回数	参加者数
5	9/18(月祝)	出張★科学館 in サッポロファクトリー	札幌不動産開発株式会社	6回	122名
6	9/25(月)	移動プラネタリウム(プレスリリースデモ)	札幌プリンスホテル	—	—
7	11/18(土)	移動プラネタリウム	厚別東小学校 PTA	8回	93名
8	12/2(土)	移動プラネタリウム & スライド投影	清田緑小学校 PTA	4回	131名
9	1/14(日)	移動プラネタリウム	厚別区 PTA 連合会	5回	121名

物品販売等事業

(定款第4条第6号に掲げる事業)

(1) 売店の運営

青少年科学館への来館者へのサービス向上を目的として売店事業を行っている。同館の休館に伴い売店も休業中であつたが、札幌駅前通地下広場での「夏の特別展」や、生涯学習センターでの「ちえりあフェスティバル」の際に、出張販売を行った。

(2) 自動販売機の設置・販売

生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、来館者へのサービス向上を目的とした自動販売機の設置を行った。

(3) 飲食店の運営

生涯学習センターの「Chie Terrace(ちえテラス)」における飲食店運営をタリーズコーヒージャパン株式会社に委託し、来館者への飲食等提供事業を行った。

生涯学習施設の公益目的外貸与等事業

(定款第4条第5・6号に掲げる事業)

(1) 駐車場管理業務

生涯学習センターの管理運営に附帯する事業として、駐車場の管理運営を行った。

(2) 施設管理受託業務

札幌市から受託した札幌市生涯学習総合センター内の教育センター、宮の沢若者活動センター、リサイクルプラザ宮の沢などの警備・清掃業務を行った。

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和6年6月

公益財団法人札幌市生涯学習振興財団